

鳥獣被害防止総合対策事業の評価報告(令和4年度報告)

1 被害防止計画の特徴等

令和5年度現在、三重県内29市町のうち、被害防止計画策定市町は25市町となっている。  
 上記市町のほとんどが、ニホンザル、ニホンジカ、イノシシを対象鳥獣としており、被害の軽減目標としている。その他の対象鳥獣についてはアライグマ、アナグマ、ハクビシン、タヌキ等となっている。  
 今年度の評価報告は令和2年度から令和4年度を計画期間とし、本事業を活用した19市町(四日市市、鈴鹿市、亀山市、菟野町、津市、松阪市、大台町、伊勢市、鳥羽市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、伊賀市、尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町)、33事業主体である。

2 事業効果の発現状況

県内の被害防止計画を策定している25市町のうち、実施隊を編成している自治体は23市町である。  
 本事業を活用して実施隊が、大型捕獲檻とICT機器によるサル有害捕獲を進める捕獲活動や、集落自らが捕獲に取り組むための支援、獣害対策に取り組む体制づくり等を行ってきている。  
 また侵入防止柵の整備は計画的に進め、捕獲を進めた結果、県内の農業被害金額の推移は令和2年度196百万円から令和4年度161百万円の35百万円の減少となり、総合的な対策による効果を発言している。

3 被害防止計画の目標達成状況

各市町の達成状況は、下表4のとおり。今回評価報告を行った19市町のうち、15市町で目標達成率が70%以上となったが、4市町においては、達成状況が低調であった。農業被害の傾向としては、イノシシの生息域だったところや今まで被害がなかった地域に被害が出てきていること、また豚熱の影響で減少していたイノシシの頭数が戻ってきたと感ぜられる地域もある。県全体をみると、ニホンザルの被害は年々減少している傾向にあるが、市町によって差があることから、引き続き、被害金額の大きい獣種への対策を中心に行うことが課題である。

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始(ハード事業)	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画(改善)の目標と実績						事業実施主体の評価	第三者の意見 (農業研究所 鬼頭敦史) (中央農業改良普及センター 大成行洋)	都道府県の評価
										被害金額(千円)			被害面積(ha)					
										目標値(R4年)	実績値(R4年)	達成率	目標値(R4年)	実績値(R4年)	達成率			
四日市市鳥獣被害防止総合対策事業推進協議会	四日市市	R2	ニホンザル、ニホンジカ、イノシシ	・有害捕獲	シカ・イノシシ用捕獲檻の購入2基	四日市市鳥獣被害防止総合対策事業推進協議会			捕獲檻の購入により、効果的な捕獲活動の実施が図られた。	ニホンザル	ニホンザル	ニホンザル	ニホンザル	ニホンザル	ニホンザル	捕獲檻の購入により、効果的な捕獲活動の実施が図られた。また、侵入防止柵の設置により、被害の減少を図ることができた。	被害が拡大している地区や侵入防止柵未設置地区への獣害対策の推進を進めてください。また、侵入防止柵を設置した地区においては、柵の効果でも拡大しているため、捕獲檻の増加や侵入防止柵未設置圃場での設置の取り組みを継続していく必要がある。今後の対応策等は、改善計画にて整理。	継続的に被害防止対策を進めているところは評価できます。目標が未達成です。課題等に応じた改善計画を作成し、被害が拡大している地域に必要な対策を進め、計画的に被害軽減を図ってください。
				・緊急捕獲事業	ニホンジカ:91頭イノシシ:233頭ニホンザル:3頭					ニホンザル	ニホンザル	ニホンザル	ニホンザル	ニホンザル				
		・有害捕獲	シカ・イノシシ用捕獲檻の購入2基	四日市市鳥獣被害防止総合対策事業推進協議会	R3	100%	ニホンジカ	ニホンジカ		ニホンジカ	ニホンジカ	ニホンジカ	ニホンジカ					
		・侵入防止柵	ワイヤーメッシュ柵(H=1.8m) L=3,050m L=1,560m				イノシシ	イノシシ		イノシシ	イノシシ	イノシシ	イノシシ					
		・緊急捕獲事業	ニホンジカ:33頭イノシシ:85頭ニホンザル:5頭				計	計		計	計	計	計					
		R4	ニホンザル、ニホンジカ、イノシシ	・有害捕獲	シカ・イノシシ用捕獲檻の購入2基	四日市市鳥獣被害防止総合対策事業推進協議会	R4	100%		ニホンザル	ニホンザル	ニホンザル	ニホンザル	ニホンザル	ニホンザル			
	・侵入防止柵			ワイヤーメッシュ柵(H=1.8m) L=2,460m	イノシシ				イノシシ	イノシシ	イノシシ	イノシシ	イノシシ					
	・緊急捕獲事業			ニホンジカ:40頭イノシシ:190頭ニホンザル:14頭	計				計	計	計	計	計					

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始 (ハード事業)	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画(改善)の目標と実績						事業実施主体の評価	第三者の意見 (農業研究所 鬼頭敦史) (中央農業改良普及センター 大成行洋)	都道府県の評価
										被害金額(千円)			被害面積(ha)					
										目標値 (R4年)	実績値 (R4年)	達成率	目標値 (R4年)	実績値 (R4年)	達成率			
鈴鹿市鳥獣被害防止対策協議会	鈴鹿市	R2	ニホンジカ・イノシシ・ニホンザル・アライグマ	推進体制の整備	総会開催	鈴鹿市鳥獣被害防止対策協議会			ニホンザルの遊動域調査や個体数調査の実施により、群れの詳細な状況が把握でき、追い払い活動等の対策を講じることができた。また、得られた情報は、以後の効率的な群れ管理にも活用していく。 研修会の開催により、獣害対策に取り組む意識が向上した。結果として、追い払い資材を用いた集落での追い払い活動の実施や防護柵の設置が促進された。 また、ICT等新技術の導入により、捕獲圧の強化に繋がった。	ニホンジカ 2,682	ニホンジカ 3,005	ニホンジカ -129.1%	ニホンジカ 0.52	ニホンジカ 0.80	ニホンジカ -833.3%	捕獲機材の導入や鳥獣被害対策研修の実施等により、捕獲圧の強化及び被害地区の対策に取り組む意識向上に繋がった。 また、市内に生息するニホンザルの調査等により群れの状況把握ができた。今後、さらなる被害軽減に向けて、群れの管理及び地域ぐるみでの獣害対策を推進していく。	対策の効果が発揮されているので、引き続き捕獲の強化やサル群の状況に応じた集落ぐるみの対策実施を推進し、さらなる被害軽減に向けた取り組みをすすめてください。	継続的に対策を行っているところが評価できません。今後も引き続き、集落ぐるみでの対策を実施し、被害の軽減を図ってください。
				有害捕獲	サル遊動域等調査業務 箱わな(大型):4基 箱わな(小型):6基					イノシシ 5,617	イノシシ 3,625	イノシシ 773.0%	イノシシ 1.43	イノシシ 1.35	イノシシ 200.0%			
				被害防除	サル電波発信機装着等業務 サル個体数調査業務委託 鳥獣被害対策研修会(教材費) 実施隊被害状況調査(車両リース・燃料費) 受信機、アンテナ、センサーカメラ等:一式					ニホンザル 3,520	ニホンザル 1,545	ニホンザル 1,167.6%	ニホンザル 0.89	ニホンザル 0.62	ニホンザル 640.0%			
					アライグマ 851					アライグマ 427	アライグマ 0	アライグマ 0.05	アライグマ 0.13	アライグマ 0				
				緊急捕獲	シカ(成獣):92頭、イノシシ(成獣):133頭、イノシシ(幼獣):9頭、サル(成獣):10頭、サル(幼獣):1頭					計 12,670	計 8,602	計 754.0%	計 2.89	計 2.90	計 93.8%			
		R3	ニホンジカ・イノシシ・ニホンザル・アライグマ	推進体制の整備	総会開催					狩猟免許取得予備講習会受講補助:2名								
				有害捕獲	サル遊動域等調査業務 箱わな(小型):8基 電殺機:1台													
				被害防除	サル電波発信機装着等業務 鳥獣被害対策研修会(教材費) 実施隊被害状況調査(車両リース・燃料費) 電気柵設置状況点検													
				緊急捕獲	シカ(成獣):70頭、イノシシ(成獣):72頭、イノシシ(幼獣):15頭、サル(成獣):2頭													
		R4	ニホンジカ・イノシシ・ニホンザル・アライグマ	推進体制の整備	総会開催													
				有害捕獲	サル遊動域等調査業務													
				被害防除	サル電波発信機装着等業務 サル個体数調査業務委託 鳥獣被害対策研修会(教材費) 実施隊被害状況調査(車両リース・燃料費)													
					ICT等新技術の活用 大型捕獲檻遠隔監視操作システム:一式													
				緊急捕獲	シカ(成獣):65頭、イノシシ(成獣):47頭、イノシシ(幼獣):8頭、サル(成獣):9頭													









4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

業実施主体 (協議会名)	対象地 域	実施年 度	対象鳥獣	事業内 容	事業量	管理主 体	供用開 始(ハ ード事 業)	利用 率・稼 働率	事業効 果	被害防止計画(改善)の目標と実績						第三者の意見 (農業研究所 鬼頭敦史) (中央農業改良普及センター 大成行洋)	都道府県の評価	
										被害金額(千円)			被害面積(ha)					事業実施主体の評価
										目標値 (R4年)	実績値 (R4年)	達成率	目標値 (R4年)	実績値 (R4年)	達成率			
大台町獣害 対策協議会	大台町	R2	ニホンジカ、 ニホンザル、 イノシシ	有害捕獲	捕獲作業実施に係る経費62 名×2回	大台町獣害 対策協議会			ニホンジカ、イノシシ、ニホンザルの被害(被害金額)が 軽減した。	ニホンジカ 991 ニホンザル 1,353 イノシシ 1,249 合計 3,593	ニホンジカ 1,024 ニホンザル 1,177 イノシシ 712 合計 2,913	ニホンジカ 81.1% ニホンザル 130.3.3% イノシシ 344.1% 合計 169.7%	ニホンジカ 0.68 ニホンザル 0.64 イノシシ 1.11 合計 2.43	ニホンジカ 1.25 ニホンザル 1.54 イノシシ 0.87 合計 3.66	ニホンジカ -375% ニホンザル -229.6 イノシシ 220% 合計 -106.8%	大台町猟友会による鳥獣捕獲が効率的に 行われた。また、町単独事業の獣害補設 置補助金により、被害金額の軽減につな がった。 被害面積の増加については、町単独事業 である獣害補設置補助金により、元々被 害が多かった田畑の被害は減少したが、 獣害補を避けるように今まで被害のなかっ た農地への被害が拡大。また、ここ数年、 豚熱によるイノシシの個体数減少とそれに 伴う、ニホンジカの出没ルートの変化に加 え、イノシシの頭数も回復が進み、結果と して被害面積の増加につながった。	引き続き、捕獲とあわせて総 合的な被害防止対策を推進 してください。特にシカ被害が 拡大している地区については 侵入防止柵設置とあわせて 効果的な捕獲を進めることを 期待します。	被害が拡大している地 区については、侵入防 止柵の整備や捕獲を進 めることなどによる被害 の軽減が進みことを期 待します。
		R2	ニホンジ カ、ニホン ザル、イノ シシ	有害捕獲	大型捕獲檻2基	大台町獣害 対策協議会	令和2 年6月		集落ぐるみの取組みによるニホンザルの捕獲が進み、 被害軽減へつながった。									
伊勢市鳥獣 被害防止対 策協議会	伊勢市	R2	ニホンジカ・イ ノシシ・ニホンザ ル	有害捕獲	猪・鹿用箱わな:6基 サル用箱わな:5基 箱わな用センサー:2基	伊勢市鳥獣 被害防止対 策協議会			檻の購入によりイノシシ、シカ、サルの捕獲活動がしや すくなり、被害が軽減した。	ニホンジカ 6,727	ニホンジカ 6,180	ニホンジカ 193.5%	ニホンジカ 5.1	ニホンジカ 5.7	ニホンジカ -28.9%	有害鳥獣捕獲・駆除活動が活発に行われ たこと、集落ぐるみでの追い払いも活発に 行われたこと、侵入防止柵の整備により、 被害金額全体としては目標を達成したが、 獣種別にみると、ニホンザルは目票に至ら なかった。 被害としては、侵入防止柵を設置してい ない農地への侵入が増加したことや、ニホン シカ、ニホンザルの生息域拡大によるもの と考えられる。 イノシシは、豚熱の蔓延により、生息域・個 体数が縮小・減少したこと、令和3年度、 4年度の捕獲頭数の目標達成ができな かったが、ニホンジカは、令和3年度、4年 度で捕獲頭数の目標を達成できている。 また、ニホンザルについては捕獲頭数の 目標がいずれの年度においても未達成で あった。 今後、これまで以上に被害の拡大が懸念 されるニホンジカ・ニホンザルの対策を強 化していく必要がある。	今後も捕獲とともに適 切な侵入防止柵の設置 や維持管理等をすす め、集落ぐるみでの体 制づくりなど、総合的 な被害防止対策を推進 していただくことを期 待します。	
				緊急捕獲	ニホンジカ成獣:306頭、幼 獣:8頭 イノシシ成獣:241頭、幼獣: 125頭 ニホンザル成獣:23頭、幼獣: 2頭 合計:705頭		有害捕獲頭数としては、ニホンジカ362頭(前年比1頭 減)、イノシシ466頭(前年比97頭減)、ニホンザル37頭 (前年比33頭減)、ハクビシン15頭(前年比3頭増)、アラ イグマ16頭(前年比1頭増)となった。豚熱の影響でイノ シシの捕獲は減少したものの、生息域が拡大しているニホ ンジカや小動物は増加した。	イノシシ 878	イノシシ 561	イノシシ 517.1%	イノシシ 0.7	イノシシ 0.6	イノシシ 366.7%					
			イノシシ	侵入防止柵	電気柵 L=2,720m	伊勢市鳥獣 被害防止対 策協議会	R2	100%	侵入防止柵の整備により農作物への被害が減少した。 また管理を自治体に委託していることから自治体の中 での獣害対策に取り組む意識がより向上した。	ニホンザ ル 8,370	ニホンザ ル 8,508	ニホンザ ル 85.2%	ニホンザ ル 7.2	ニホンザ ル 7.9	ニホンザ ル 2.5%			
		R3	ニホンジカ・イ ノシシ・ニホンザ ル	有害捕獲	猪・鹿用箱わな:5基 サル用箱わな:5基 誘導捕獲柵わな:1基	伊勢市鳥獣 被害防止対 策協議会			檻の購入によりイノシシ、シカ、サルの捕獲活動がしや すくなり、被害が軽減した。	合計 15,975	合計 15,249	合計 145.6%	合計 13.0	合計 14.2	合計 8.4%			
				緊急捕獲	ニホンジカ成獣:284頭、幼 獣:6頭 イノシシ成獣:120頭、幼獣: 56頭 ニホンザル成獣:8頭 合計:474頭		有害捕獲頭数としては、ニホンジカ418頭(前年比56頭 増)、イノシシ304頭(前年比162頭減)、ニホンザル26頭 (前年比11頭減)、ハクビシン44頭(前年比29頭増)、ア ライグマ20頭(前年比4頭増)となった。生息域が拡大し ているニホンジカや小動物は増加した。											
		R4	ニホンジカ・イ ノシシ・ニホンザ ル	侵入防止柵	WM柵 L=120m 電気柵 L=471m	伊勢市鳥獣 被害防止対 策協議会	R3	100%	侵入防止柵を整備したところ、令和4年度(柿)の被害は 確認されなかった。 また管理を自治会に委託していることか地元での獣害 対策に取り組む意識がより向上した。									
				有害捕獲	猪・鹿用箱わな:5基 サル用箱わな:5基	伊勢市鳥獣 被害防止対 策協議会			檻の購入によりイノシシ、シカ、サルの捕獲活動がしや すくなり、被害が軽減した。									
			緊急捕獲	ニホンジカ成獣:330頭、幼 獣:5頭 イノシシ成獣:39頭、幼獣:45 頭 ニホンザル成獣:11頭 合計:430頭		有害捕獲頭数としては、ニホンジカ468頭(前年比50頭 増)、イノシシ153頭(前年比151頭減)、ニホンザル23頭 (前年比3頭減)、ハクビシン52頭(前年比6頭増)アライ グマ25頭(前年比5頭増)となった。生息域が拡大してい るニホンジカや小動物は増加した。												
	ニホンジカ・イ ノシシ	侵入防止柵	WM柵 L=770m	伊勢市鳥獣 被害防止対 策協議会	R4	100%	侵入防止柵を整備したところ、令和5年度産水稲につい て、現時点まで被害は確認されていない。 管理を自治会の農家組合に委託していることから自治 会の中での獣害対策に取り組む意識が向上した。											

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

業実施主体 (協議会名)	対象地 域	実施年 度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開 始(ハー ド事業)	利用 率・稼 働率	事業効果	被害防止計画(改善)の目標と実績						第三者の意見 (農業研究所 鬼頭敦史) (中央農業改良普及センター 大成行洋)	都道府県の評価						
										被害金額(千円)			被害面積(ha)										
										目標値 (R4年)	実績値 (R4年)	達成率	目標値 (R4年)	実績値 (R4年)	達成率								
鳥羽市 (鳥羽市獣 害対策協議 会)	鳥羽市	R2	ニホンジカ・イ ノシシ・ニホンザ ル・タヌキ	緊急捕獲	ニホンジカ成獣:121頭 イノシシ成獣:275頭 ニホンザル成獣:11頭 合計:407頭					緊急捕獲事業の活用として、前年度捕獲頭数186頭から増加することができた。	ニホンジカ 1,220 イノシシ 5,200 ニホンザル 2,900 タヌキ 0	ニホンジカ 2,236 イノシシ 1,706 ニホンザル 3,689 タヌキ 20	ニホンジカ -133.1% イノシシ 1,149.2% ニホンザル -328.8% タヌキ -100%	ニホンジカ 1.0 イノシシ 5.5 ニホンザル 2.0 タヌキ 0.0	ニホンジカ 2.4 イノシシ 2.1 ニホンザル 3.4 タヌキ 0.0	ニホンジカ -711.8% イノシシ 966.7% ニホンザル -600.0% タヌキ -1,900.0%	被害防止計画の計画期間中、同計画を適宜見直し、有害捕獲期間を適年にするのと同時に、ニホンジカ、イノシシの捕獲目標頭数を上方修正し、また、対象鳥獣にアナグマを加えるなど捕獲強化に取り組んだ。また、鳥羽市獣害対策協議会が行った貸出用捕獲資材の整備により有害捕獲を効率的に進めることができた。また、ニホンザルについては群の調査の実施、アライグマなどの中型獣については中型獣用の侵入防止柵設置の推進等もすすめてください。	継続的に捕獲・駆除を行っているところが評価できます。今後も捕獲とともに侵入防止柵の設置や適切な柵の維持管理等をすすめて、総合的な被害防止対策を推進していただけることを期待します。					
		R3	ニホンジカ・イ ノシシ・ニホンザ ル・タヌキ・アラ イグマ・ハクビ シ・アナグマ	緊急捕獲	ニホンジカ成獣:261頭 イノシシ成獣:244頭 ニホンザル成獣:27頭 小動物:11頭 合計:543頭					被害防止計画の見直しにより、小動物を事業対象に加え強化を行ったところ、豚熱の影響でイノシシの捕獲頭数は減少したものの、生息域の拡大がみられるニホンジカやニホンザルでの捕獲頭数が増加した。	アライグマ 0 ハクビシ 0 アナグマ 0	アライグマ 20 ハクビシ 20 アナグマ 50	アライグマ -100% ハクビシ -100% アナグマ -400%	アライグマ 0.0 ハクビシ 0.0 アナグマ 0.0	アライグマ 0.0 ハクビシ 0.0 アナグマ 0.0	合計 9,320			合計 7,741	合計 351.4%	合計 8.5	合計 8.0	合計 166.8%
		R4	ニホンジカ・イ ノシシ・ニホンザ ル・タヌキ・アラ イグマ・ハクビ シ・アナグマ	緊急捕獲	ニホンジカ成獣:398頭 イノシシ成獣:141頭 ニホンザル成獣:16頭 小動物:60頭 合計:615頭					豚熱の影響でイノシシの捕獲頭数は減少したものの、生息域の拡大がみられるニホンジカでの捕獲が大幅に増加した。	合計 9,320	合計 7,741	合計 351.4%	合計 8.5	合計 8.0	合計 166.8%							
鳥羽市獣害 対策協議会	鳥羽市	R2	ニホンジカ・イ ノシシ・ニホンザ ル・タヌキ	①有害捕獲 ②被害防除	①狩猟免許取得補助:2人 ①大型捕獲檻:7基 ①小型獣用捕獲檻:5基 ①くくりわな:37基 ①大型捕獲檻:5基(実施隊) ①捕獲通信システム:5基(実施隊) ①止め刺し器:1基(実施隊) ②サル発信器装着:1基 ②被害発生状況調査	鳥羽市獣害 対策協議会			2名に対して狩猟免許の取得助成を行ない捕獲従事者を増加することができた。また、捕獲資材の導入により捕獲活動の体制を強化したことで、鳥羽市が取り組む緊急捕獲事業や鳥獣被害対策実施隊の活動を効率的に進めることができ、捕獲頭数を増加することができた。	ニホンジカ 1,220 イノシシ 5,200 ニホンザル 2,900 タヌキ 0	ニホンジカ 2,236 イノシシ 1,706 ニホンザル 3,689 タヌキ 20	ニホンジカ -133.1% イノシシ 1,149.2% ニホンザル -328.8% タヌキ -100%	ニホンジカ 1.0 イノシシ 5.5 ニホンザル 2.0 タヌキ 0.0	ニホンジカ 2.4 イノシシ 2.1 ニホンザル 3.4 タヌキ 0.0	ニホンジカ -711.8% イノシシ 966.7% ニホンザル -600.0% タヌキ -1,900.0%	鳥羽市は被害防止計画の計画期間中、同計画を適宜見直し、有害捕獲期間を適年にするのと同時に、ニホンジカ、イノシシの捕獲目標頭数を上方修正し、また、対象鳥獣にアナグマを加えるなど捕獲強化に取り組んだ。鳥羽市獣害対策協議会としては、貸出用捕獲資材の整備により有害捕獲を効率的に進めることができた。また、ニホンザルについては群の状況調査の実施やアライグマなどの中型獣については中型獣用の侵入防止柵設置の推進をすすめてください。	継続的に捕獲・駆除を行っているところが評価できます。今後も捕獲とともに侵入防止柵の設置や適切な柵の維持管理等をすすめて、総合的な被害防止対策を推進していただけることを期待します。						
		R3	ニホンジカ・イ ノシシ・ニホンザ ル・タヌキ・アラ イグマ・ハクビ シ	①有害捕獲 ②被害防除 ③生息環境管理	①狩猟免許取得補助:2人 ①大型捕獲檻:5基 ①小型獣用捕獲檻:5基 ①くくりわな:40基 ①大型捕獲檻:5基(実施隊) ①捕獲通信システム:5基(実施隊) ①ニホンザル用捕獲檻:2基(実施隊) ②被害発生状況調査 ②ニホンザル行動域調査 ③放任果樹伐採	鳥羽市獣害 対策協議会			2名に対して狩猟免許の取得助成を行ない捕獲従事者を増加することができた。また、捕獲資材の導入により捕獲活動の体制を強化したことで、鳥羽市が取り組む緊急捕獲事業や鳥獣被害対策実施隊の活動を効率的に進めることができ、イノシシについては豚熱の影響で減少したが、ニホンジカについては捕獲頭数を増加することができた。	アライグマ 0 ハクビシ 0 アナグマ 0	アライグマ 20 ハクビシ 20 アナグマ 50	アライグマ -100% ハクビシ -100% アナグマ -400%	アライグマ 0.0 ハクビシ 0.0 アナグマ 0.0	アライグマ 0.0 ハクビシ 0.0 アナグマ 0.0	合計 9,320			合計 7,741	合計 351.4%	合計 8.5	合計 8.0	合計 166.8%	
		R4	ニホンジカ・イ ノシシ・ニホンザ ル・タヌキ・アラ イグマ・ハクビ シ	①有害捕獲 ②被害防除 ③侵入防止柵	①狩猟免許取得補助:2人 ①大型獣用捕獲檻:5基 ①中型獣用捕獲檻:5基 ①小型獣用捕獲檻:10基 ①くくりわな:20基 ②被害発生状況調査 ③イノシシ用WM柵 H=1.2m L=774.1m シカ・イノシシ用のWM柵 H=2.0m L=1420.9m	鳥羽市獣害 対策協議会	R4	100%	2名に対して狩猟免許の取得助成を行ない捕獲従事者を増加することができた。また、捕獲資材の導入により捕獲活動の体制を強化したことで、鳥羽市が取り組む緊急捕獲事業や鳥獣被害対策実施隊の活動を効率的に進めることができ、イノシシについては豚熱の影響で減少したが、ニホンジカについては捕獲頭数を増加することができた。	合計 9,320	合計 7,741	合計 351.4%	合計 8.5	合計 8.0	合計 166.8%								





4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

業実施主体 (協議会名)	対象地 域	実施年 度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開 始(ハ ード事 業)	利用 率・稼 働率	事業効果	被害防止計画(改善)の目標と実績						第三者の意見 (農業研究所 鬼頭敦史) (中央農業改良普及センター 大成行洋)	都道府県の評価						
										被害金額(千円)			被害面積(ha)					事業実施主体の評価					
										目標値 (R4年)	実績値 (R4年)	達成率	目標値 (R4年)	実績値 (R4年)	達成率								
度会町 (度会町鳥 獣被害防止 対策協議会)	度会町	R2	ニホンジカ・イ ノシシ・ニホンザ ル	緊急捕獲	ニホンジカ成獣:500頭 イノシシ成獣:280頭 ニホンザル成獣:20頭 合計:800頭				有害捕獲頭数としては、ニホンジカ547頭(昨対147%)、 イノシシ439頭(昨対127%)、ニホンザル41頭(昨対117%) となり、捕獲の強化を行うことができた。	ニホンジカ 1,215	ニホンジカ 1,215	ニホンジカ 100%	ニホンジカ 1.4	ニホンジカ 1.4	ニホンジカ 100.0%	獣害防止計画が進んでいるため、その周 辺で加害獣を捕獲することで、被害面積、被害額の減少につながった。 耕作や集落についても、獣害被害に危 機感を持って対策を講じる意識が高まり、 獣害対策に対する意欲向上につながっ た。 今後も継続して獣害防止の整備と有害鳥獣 捕獲により有害鳥獣駆除を図る。 また、獣害防止の整備については、ニホンザ ルの被害の拡大に対応するため、既存柵 への電気柵の導入等による機能向上で多 数種に対応をしていく。	引き続き、柵周辺での効果的 な捕獲とあわせて、侵入防止 柵の整備・機能向上等を進め てください。	今後も捕獲とともに侵 入防止柵の整備や維持 管理、被害防止対策 を推進していただくこと を期待します。					
		R3	ニホンジカ・イ ノシシ・ニホンザ ル	緊急捕獲	ニホンジカ成獣:604頭 イノシシ成獣:168頭 ニホンザル成獣:36頭 合計:808頭				有害捕獲頭数としては、ニホンジカ723頭(昨対132%)、 イノシシ226頭(昨対51%)、ニホンザル91頭(昨対221%) となった。豚熱の影響でイノシシは減少したが、生息数 が拡大していると思われるニホンジカ、ニホンザルにつ いては、捕獲の強化を行うことができた。	ニホンザ ル 501	ニホンザ ル 462	ニホンザ ル 490.0%	ニホンザ ル 0.4	ニホンザ ル 0.4	ニホンザ ル -300.0%								
		R4	ニホンジカ・イ ノシシ・ニホンザ ル	緊急捕獲	ニホンジカ成獣:545頭 イノシシ成獣:109頭 ニホンザル成獣:27頭 合計:681頭				有害捕獲頭数としては、ニホンジカ604頭(昨対83%)、イ ノシシ168頭(昨対74%)、ニホンザル33頭(昨対36%)とな り、捕獲頭数は減少したものの、被害軽減に必要な加害 獣を効率的に捕獲ができたと考えている。	合計 3,165	合計 3,030	合計 190.0%	合計 3.0	合計 3.1	合計 86.7%								
大紀町 (大紀町鳥 獣被害防止 対策協議会)	大紀町	R2	ニホンジカ・イ ノシシ・ニホンザ ル	緊急捕獲	ニホンジカ成獣:414頭、幼 獣:19頭 イノシシ成獣:182頭、幼獣: 40頭 ニホンザル成獣:24頭、幼獣: 1頭 合計:680頭				前年度と比べて、ニホンジカ174頭増加、イノシシ59頭減 少、ニホンザル14頭減少となった。 これまで10月までとしていた通年として捕獲強化したこと から、豚熱の影響によるイノシシの減少がある一方、被 害が拡大しているニホンジカが増加した。	ニホンジカ 770	ニホンジカ 782	ニホンジカ 85.9%	ニホンジカ 2.3	ニホンジカ 0.9	ニホンジカ 650.0%	豚熱の影響でイノシシの生息数が減少し ていることも大きく影響しているが、捕獲活 動を継続していることで、生息数が減少し 全体としては被害軽減がされた。 一方、獣種別にみると、ニホンジカでは、 捕獲数は増加しているが、これに比して被 害が目標に至らず、また、ニホンザルにお いては、被害は増加していることから、引 き続き取り組みの強化が必要である。	ニホンジカ及びニホンザルの 被害金額は目標達成に至っ ていないため、ニホンジカで は侵入防止柵周辺での効果 的な捕獲、ニホンザルでは、 効果的な追い払いや捕獲に 向けた、サル群の状況把握 等をすすめ、被害軽減に努め てください。	被害が拡大している地 区については、侵入防 止柵周辺での捕獲を進 める等、被害の軽減を 図ってください。					
		R3	ニホンジカ・イ ノシシ・ニホンザ ル	緊急捕獲	ニホンジカ成獣:741頭、幼 獣:9頭 イノシシ成獣:82頭、幼獣:8 頭 ニホンザル成獣:34頭、幼獣: 3頭 877頭				前年度と比べて、ニホンジカ317頭増加、イノシシ132頭 減少、ニホンザル12頭増加となった。 豚熱の影響によるイノシシの減少がある一方、被害が 拡大しているニホンジカの捕獲の強化を行うことができ た。	ニホンザ ル 70	ニホンザ ル 638	ニホンザ ル -1,126.0%	ニホンザ ル 0.2	ニホンザ ル 0.7	ニホンザ ル -2,450.0%								
		R4	ニホンジカ・イ ノシシ・ニホンザ ル	緊急捕獲	ニホンジカ成獣:651頭、幼 獣:16頭 イノシシ成獣:74頭、幼獣:20 頭 ニホンザル成獣:21頭、幼獣: 3頭 785頭				前年度と比べて、ニホンジカ83頭減少、イノシシ4頭増 加、ニホンザル13頭減少となった。	合計 2,410	合計 1,877	合計 298.9%	合計 7.6	合計 2.1	合計 756.0%								
大紀町鳥獣 被害防止対 策協議会	大紀町	R3	ニホンジカ・イ ノシシ	有害捕獲	捕獲檻箱わな6基	大紀町鳥獣 被害防止対 策協議会			捕獲従事者による活動がしやすくなり、一定の捕獲数を 確保することができた。	ニホンジカ 770	ニホンジカ 782	ニホンジカ 85.9%	ニホンジカ 2.3	ニホンジカ 0.9	ニホンジカ 650.0%	大紀町として取り組む有害捕獲活動(緊急 捕獲事業)を効率的に進められるように、 捕獲機材や従事者を確保する取組みを 行ったところ、捕獲頭数が増加した。	ニホンジカ及びニホンザルの 被害金額は目標達成に至っ ていないため、ニホンジカで は侵入防止柵周辺での効果 的な捕獲、ニホンザルでは、 効果的な追い払いや捕獲に 向けた、サル群の状況把握 等をすすめ、被害軽減に努め てください。	被害が拡大している地 区については、侵入防 止柵周辺での捕獲を進 める等、被害の軽減を 図ってください。					
		R4	ニホンジカ・イ ノシシ・ニホンザ ル	有害捕獲	狩猟免許取得補助:4人			捕獲従事者の高齢化が進む中、捕獲匠の維持・強化が 課題であるが、新しく4名の従事者を確保することができ た。	ニホンザ ル 70	ニホンザ ル 638	ニホンザ ル -1,126.0%	ニホンザ ル 0.2	ニホンザ ル 0.7	ニホンザ ル -2,450.0%									
合計									合計 2,410	合計 1,877	合計 298.9%	合計 7.6	合計 2.1	合計 756.0%									

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

業実施主体 (協議会名)	対象地 域	実施年 度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開 始(ハ ド事 業)	利用 率・稼 働率	事業効果	被害防止計画(改善)の目標と実績						第三者の意見 (農業研究所 鬼頭敦史) (中央農業改良普及センター 大成行洋)	都道府県の評価	
										被害金額(千円)			被害面積(ha)					
										目標値 (R4年)	実績値 (R4年)	達成率	目標値 (R4年)	実績値 (R4年)	達成率			
南伊勢町 (南伊勢町 鳥獣害防止 総合対策協 議会)	南伊勢町	R2	ニホンジカ・イ ノシシ・ニホンザ ル・ハクビシン	緊急捕獲	ニホンジカ成獣:1,913頭、幼 獣:30頭 イノシシ成獣:953頭、幼獣: 323頭 ニホンザル成獣:69頭、幼獣: 11頭 ハクビシン:41頭 合計:3,340頭				有害捕獲頭数としては、ニホンジカ1955頭(昨対113%)、 イノシシ1276頭(昨対86%)、ニホンザル80頭(昨対65%)、 ハクビシン41頭(昨対80%)となり、被害が拡大しているニ ホンジカの捕獲の強化を行うことができた。	ニホンジカ 1,954	ニホンジカ 2,341	ニホンジカ -78.3%	ニホンジカ 0.52	ニホンジカ 0.57	ニホンジカ 0.0%	本事業の活用と南伊勢町鳥獣害防止総 合対策協議会による捕獲従事者育成等、 また、町単による捕獲檻購入費の補助に よる捕獲頭数の増加については一定の評 価ができるが、被害金額は増加しており目 標値を達成することができなかった。面積 当たりの被害額の大きいニホンジカやニホ ンザルなど、捕獲、防除両面で周知等徹 底していきたい。	捕獲の継続・強化とあわせ て、侵入防止柵設置や侵入 防止柵周辺での加害獣の捕 獲など、総合的に被害軽減を すすめてください。	今後も捕獲とともに侵 入防止柵の整備や維持 管理等、被害防止対策 を推進していただくこと を期待します。
		R3	ニホンジカ・イ ノシシ・ニホンザ ル・ハクビシン	緊急捕獲	ニホンジカ成獣:1,919頭、幼 獣79頭 イノシシ成獣:383頭、幼獣 144頭 ニホンザル成獣:75頭、幼獣 18頭 ハクビシン:44頭 合計:2,662頭			有害捕獲頭数としては、ニホンジカ1981頭(昨対101%)、 イノシシ533頭(昨対42%)、ニホンザル88頭(昨対110%)、 ハクビシン44頭(昨対107%)となり、豚熱の影響によるイ ノシシの減少がある一方、被害が拡大しているニホンジ カの捕獲の強化を行うことができた。	ニホンザ ル 676	ニホンザ ル 803	ニホンザ ル -69.3%	ニホンザ ル 0.28	ニホンザ ル 0.51	ニホンザ ル -666.7%				
		R4	ニホンジカ・イ ノシシ・ニホンザ ル	緊急捕獲	ニホンジカ成獣:2,035頭、幼 獣:48頭 イノシシ成獣:290頭、幼獣: 49頭 ニホンザル成獣:40頭、幼獣: 13頭 ハクビシン:40頭 合計:2,515頭			有害捕獲頭数としては、ニホンジカ2107頭(昨対106%)、 イノシシ340頭(昨対64%)、ニホンザル59頭(昨対67%)、 ハクビシン42頭(昨対95%)となり、豚熱の影響によるイ ノシシの減少がある一方、被害が拡大しているニホンジ カの捕獲の強化を行うことができたが、農業被害額は増 加の傾向にあり、目標値を達成することができなかつ た。	ニホンザ ル 676	ニホンザ ル 803	ニホンザ ル -69.3%	ニホンザ ル 0.28	ニホンザ ル 0.51	ニホンザ ル -666.7%				
南伊勢町鳥 獣害防止総 合対策協 議会	南伊勢町	R2	ニホンジカ・イ ノシシ・ニホンザ ル・ハクビシン	有害捕獲	狩猟免許取得補助:2人 箱わな:2基	南伊勢町鳥 獣害防止総 合対策協 議会		2名に対して狩猟免許の取得助成を行ない、捕獲を進め ている。 また、箱わなの導入による捕獲活動の強化でニホンジカ の捕獲頭数が増加するなどの効果が確認できる。	ニホンジカ 1,954	ニホンジカ 2,341	ニホンジカ -78.3%	ニホンジカ 0.52	ニホンジカ 0.57	ニホンジカ 0.0%	本事業の活用と南伊勢町が行う緊急捕獲 事業及び町単による捕獲檻購入費の補助 による捕獲頭数の増加については一定の 評価ができるが、被害金額は増加しており 目標値を達成することができなかった。面 積当たりの被害額の大きいニホンジカや ニホンザルなど、捕獲、防除両面で周知等 徹底していきたい。	捕獲の継続・強化とあわせ て、侵入防止柵設置や侵入 防止柵周辺での加害獣の捕 獲など、総合的に被害軽減を すすめてください。	今後も捕獲とともに侵 入防止柵の整備や維持 管理等、被害防止対策 を推進していただくこと を期待します。	
		R3	ニホンジカ・イ ノシシ・ニホンザ ル・ハクビシン	有害捕獲	狩猟免許取得補助:2人 サル用囲い罠:1基 大型獣捕獲檻:2基	南伊勢町鳥 獣害防止総 合対策協 議会	2名に対して狩猟免許の取得助成を行ない、捕獲を進め ている。 また、囲い罠等の導入による捕獲活動の強化でニホン ジカの捕獲頭数の増加やニホンザルの捕獲維持などの 効果が確認できる。	ニホンザ ル 676	ニホンザ ル 803	ニホンザ ル -69.3%	ニホンザ ル 0.28	ニホンザ ル 0.51	ニホンザ ル -666.7%					
		R4	ニホンジカ・イ ノシシ・ニホンザ ル・ハクビシン	有害捕獲	狩猟免許取得補助:3人	南伊勢町鳥 獣害防止総 合対策協 議会	3名に対して狩猟免許の取得助成を行ない、捕獲を進め ている。	ニホンザ ル 676	ニホンザ ル 803	ニホンザ ル -69.3%	ニホンザ ル 0.28	ニホンザ ル 0.51	ニホンザ ル -666.7%					
伊賀市(伊 賀市鳥獣害 対策協 議会)	伊賀市	R2	イノシシ・シ カ・サル	緊急捕獲	サル:3頭 ニホンジカ:2,699頭 イノシシ:585頭	伊賀市		有害鳥獣を駆除することで個体数を減少し、生息数の 適正化及び農作物被害を軽減できた。	サル -	サル -	サル -	サル -	サル -	サル -	サル -	捕獲機材の導入や研修等による捕獲担 い手の育成、有害鳥獣の駆除・捕獲の促 進を図ったことと、豚熱感染による野生 いのししの個体数減少で令和2年度・3年 度の農作物の被害は減少した。 令和4年度は豚熱感染が収束しつつあ る影響からか、一時的に野生いのししの 生息数も増加し、農作物被害額が令和3 年度に比べ拡大した。 有害鳥獣駆除事業の資金源となる鳥獣 被害防止総合対策事業費補助金の交付 額縮小により、有害鳥獣駆除目標頭数を 削減しなければならない事態になったこ とで、捕獲・駆除活動が停滞した。令和3 年度に豚熱感染拡大により、全国的に鳥 獣被害防止総合対策事業費補助金の不 要額が発生したことを反映した交付額縮 小であると思うが、豚熱感染が収束しつ つある現状を踏まえれば野生いのししの 個体数増加は予想できたことであり、国 ・県・市全ての今後の反省点としたい。 侵入防止柵の補修と下部補強を行い、効 果が確認できた。今後、さらに下部補 強の重要性を啓発し、地域全体への防 止効果向上を目指す。	引き続き、集落ぐるみでの総 合的な獣害対策の実践をす ずめてください。また、侵入防 止柵の耐用年数を迎える集 落が出てきますので、該当す る集落の意向を確認しなが ら、より効果の高い柵の設置 等の検討を進めてください。	継続した被害防止対策 により被害が軽減でき ていることは評価できま す。今後も計画的に被 害防止対策を進めてい ただけることを期待しま す。
		R3	サル	有害捕獲	ニホンザル頭数調査 1式	伊賀市鳥 獣害対策協 議会	サルの群れの行動特性と位置情報を住民に提供す ること、追い払いによる農作物被害の軽減ができた。	ニホンジカ 1,278	ニホンジカ 2,438	ニホンジカ -71.7%	ニホンジカ 4.0	ニホンジカ 4.6	ニホンジカ -36%	ニホンジカ -432%				
		R3	イノシシ・シ カ・サル	緊急捕獲	サル:3頭 ニホンジカ:2,565頭 イノシシ:213頭	伊賀市	有害鳥獣を駆除することで個体数を減少し、生息数の 適正化及び農作物被害を軽減できた。	イノシシ 7,929	イノシシ 6,843	イノシシ 223%	イノシシ 7.1	イノシシ 11.3	イノシシ -432%					
		R4	サル	有害捕獲	ニホンザル頭数調査 1式	伊賀市鳥 獣害対策協 議会	サルの群れの行動特性と位置情報を住民に提供す ること、追い払いによる農作物被害の軽減ができた。	計9,207	計9,281	計93%	計11.1	計15.9	計-288%					
		R4	イノシシ・シ カ・サル	緊急捕獲	サル:4頭 ニホンジカ:2,395頭 イノシシ:498頭	伊賀市	有害鳥獣を駆除することで個体数を減少し、生息数の 適正化及び農作物被害を軽減できた。											

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

業実施主体 (協議会名)	対象地 域	実施年 度	対象鳥 獣	事業内 容	事業量	管理主 体	供用開 始(ハ ード事 業)	利用 率・稼 働率	事業効果	被害防止計画(改善)の目標と実績						第三者の意見 (農業研究所 鬼頭敏史) (中央農業改良普及センター 大成行洋)	都道府県の評価
										被害金額(千円)			被害面積(ha)				
										目標値 (R4年)	実績値 (R4年)	達成率	目標値 (R4年)	実績値 (R4年)	達成率		
尾鷲市	尾鷲市	R2	ニホンザル ニホンジカ イノシシ	緊急捕獲事業	ニホンジカ 成獣:135頭 イノシシ 成獣:97頭 ニホンザル 成獣:19頭	尾鷲市			イノシシ及びニホンザルの被害が減少し、被害金額(合計)が 目標値を達成した。	ニホンジカ 276	ニホンジカ 425	ニホンジカ -380.6%	ニホンジカ 0.13	ニホンジカ 0.28	ニホンジカ -1400%	引き続き捕獲の強化とあわ せ、捕獲等に加え、猟友会による一斉追 い上げ、緊急捕獲事業による捕獲等により、 鳥獣の駆除・捕獲の促進が図られたこと で、有害捕獲頭数が増加し、複合的に捕 獲圧を強化したことで、ニホンザル、ニホン ジカ、イノシシの被害金額軽減が図られ た。被害面積については目標が未達成で あったため、上記取組の更なる強化及び 地域ぐるみで獣害対策に取り組む意欲の 向上を目指す。	引き続き捕獲の強化や 地域ぐるみでの追い払 い等、総合的な被害防 止対策に推進されるこ とを期待します。
		R3	ニホンザル ニホンジカ イノシシ	緊急捕獲事業	ニホンジカ 成獣:206頭 イノシシ 成獣:28頭 ニホンザル 成獣:38頭	尾鷲市			イノシシ及びニホンザルの被害が減少し、被害金額(合計)が 目標値を達成した。	イノシシ 301	イノシシ 156	イノシシ 539.4%	イノシシ 0.16	イノシシ 0.10	イノシシ 250%		
		R4	ニホンザル ニホンジカ イノシシ	緊急捕獲事業	ニホンジカ 成獣:208頭 イノシシ 成獣:18頭 ニホンザル 成獣:18頭	尾鷲市			イノシシ及びニホンザルの被害が減少し、被害金額(合計)が 目標値を達成した。	ニホンザ ル 579	ニホンザ ル 420	ニホンザ ル 209.7%	ニホンザ ル 0.23	ニホンザ ル 0.24	ニホンザ ル 80%		
計1,156										計1,001	174.2%	計0.52	計0.62	0%			
尾鷲市鳥獣 害防止対策 協議会	尾鷲市	R2	ニホンザル ニホンジカ イノシシ	獣害対策研修 会 市内パトロール	一式	尾鷲市鳥獣 害防止対策 協議会			獣害パトロール員による見回り、追払いに加え、研修会 等の実施により自治会等の地区単位で追払いを実施す る地域も出てきており、ニホンザル、ニホンジカ、イノシ シの被害面積の軽減が図られ事業効果があったと考え られる。	ニホンジカ 276	ニホンジカ 425	ニホンジカ -380.6%	ニホンジカ 0.13	ニホンジカ 0.28	ニホンジカ -1400%	引き続き捕獲の強化とあわ せ、獣害対策研修会等によ り、地域ぐるみでの追い払 いやエサ場を無くす取組みな どをすすめてください。	継続的に対策に取り組 まれていることが評価 できます。 今後も総合的な被害防 止対策を推進してくださ ることを期待します。
		R3	ニホンザル ニホンジカ イノシシ	獣害対策研修 会 市内パトロール	一式	尾鷲市鳥獣 害防止対策 協議会			獣害パトロール員による見回り、追払いに加え、研修会 等の実施により自治会等の地区単位で追払いを実施す る地域も出てきており、ニホンザル、ニホンジカ、イノシ シの被害面積の軽減が図られ事業効果があったと考え られる。	イノシシ 301	イノシシ 156	イノシシ 539.4%	イノシシ 0.16	イノシシ 0.10	イノシシ 250%		
		R4	ニホンザル ニホンジカ イノシシ	侵入防止柵 獣害対策研修 会 市内パトロール	一式 複合柵(WM柵+ネット柵) 1地区 L=3,178m	尾鷲市鳥獣 害防止対策 協議会	R4		獣害パトロール員による見回り、追払いに加え、研修会 等の実施及び獣害柵の導入により、ニホンザル、ニホン ジカ、イノシシの被害面積の減少だけでなく、集落での 獣害対策に対する意識も高まった。	ニホンザ ル 579	ニホンザ ル 420	ニホンザ ル 209.7%	ニホンザ ル 0.23	ニホンザ ル 0.24	ニホンザ ル 80%		
計1,156										計1,001	174.2%	計0.52	計0.62	0%			

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

業実施主体 (協議会名)	対象地 域	実施年 度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開 始(ハ ード事 業)	利用 率・稼 働率	事業効果	被害防止計画(改善)の目標と実績						第三者の意見 (農業研究所 鬼頭敦史) (中央農業改良普及センター 大成行洋)	都道府県の評価	
										被害金額(千円)			被害面積(ha)					
										目標値 (R4年)	実績値 (R4年)	達成率	目標値 (R4年)	実績値 (R4年)	達成率			
紀北町	紀北町	R2	ニホンシカ イノシシ ニホンザル	緊急捕獲事業	計571頭				イノシシの被害が大幅に減少し、被害金額(合計)が目標を達成した。	ニホンジカ 305	ニホンジカ 374	ニホンジカ -102.9%	ニホンジカ 0.26	ニホンジカ 0.42	ニホンジカ -433.3%	令和4年度は令和3年度と比較すると事業 量こそ補助金額の関係で1割ほど減少し ているもの、紀北町全体での捕獲頭数は 増加しており、有害捕獲に力を入れている。 また緩衝帯の管理のよる獣の潜み場 をなくすことで、獣の出没・被害の軽減に つながっている。	引き続き、捕獲とあわせた総 合的な被害防止対策を推進 してください。シカ・サル被害 が発生している地区等につ いては侵入防止柵設置とあ わせた効果的な捕獲を進め ることを期待します。	引き続き、捕獲とあわ せた総合的な被害防止 対策を推進されることを 期待します。シカやサル による被害が発生して いる地区での侵入防止 柵の設置や適切な維持 管理に努めてください。
		R3		緊急捕獲事業	計568頭				イノシシの被害が大幅に減少し、被害金額(合計)が目標を達成した。	イノシシ 1,104	イノシシ 607	イノシシ 504%	イノシシ 1.46	イノシシ 0.5	イノシシ 629.4%			
		R4		緊急捕獲事業	計505頭				イノシシの被害が大幅に減少し、被害金額(合計)が目標を達成した。	ニホンザル 298	ニホンザル 366	ニホンザル -106%	ニホンザル 0.1	ニホンザル 0.16	ニホンザル -200.0%			
										計1,707	計1347	289.5%	計1.82	計1.08	436.4%			
紀北町鳥獣 被害防止総合 対策協議会	紀北町	R2	ニホンシカ イノシシ ニホンザル	潜み場所の除去	5,000㎡				実施隊及び地元住民による草刈りを実施し、獣の潜み 場を減らすことにより、出沒・被害を軽減させた。 また、侵入防止柵の設置により、獣害対策に関する意 欲を高めることができた。実際に被害が軽減したところ もあり、結果は出ている。しかし、イノシシが予想外に強 く、柵を破ってしまうので、そこが獣の通り道になって いる現状もある。見回り・修繕に労力がかかる面もある。	ニホンジカ 305	ニホンジカ 374	ニホンジカ -102.9%	ニホンジカ 0.26	ニホンジカ 0.42	ニホンジカ -433.3%	有害捕獲に力を入れており昨年と比較し て、ニホンジカ、イノシシともに捕獲頭数は やや増加している。捕獲強化に加え緩衝 帯の管理による獣の潜み場をなくすこと で、獣の出没・被害の軽減につながった。	引き続き、捕獲とあわせた総 合的な被害防止対策を推進 してください。サル被害が発 生している地区については集 落ぐるみの追い払い、シカ被 害が発生している地区では 侵入防止柵設置や維持管理 の徹底などをすすめてくだ さい。	引き続き、捕獲とあわ せた総合的な被害防止 対策を推進されることを 期待します。シカ被害 が発生している地区で の侵入防止柵の設置や 適切な維持管理に努め てください。
		R3		潜み場所の除去	5,000㎡					イノシシ 1,104	イノシシ 607	イノシシ 504%	イノシシ 1.46	イノシシ 0.5	イノシシ 629.4%			
		R4		潜み場所の除去	5,000㎡					ニホンザル 298	ニホンザル 366	ニホンザル -106%	ニホンザル 0.1	ニホンザル 0.16	ニホンザル -200.0%			
										計1,707	計1347	289.5%	計1.82	計1.08	436.4%			



4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

業実施主体 (協議会名)	対象地 域	実施年 度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開 始(ハー ド事 業)	利用 率・稼 働率	事業効果	被害防止計画(改善)の目標と実績						第三者の意見 (農業研究所 鬼頭敦史) (中央農業改良普及センター 大成行洋)	都道府県の評価		
										被害金額(千円)			被害面積(ha)						
										目標値 (R4年)	実績値 (R4年)	達成率	目標値 (R4年)	実績値 (R4年)	達成率				
熊野市鳥獣 害防止総合 対策協議会	熊野市	R2	ニホンジカ イノシシ	有害捕獲	箱ワナ(大型)10基	熊野市鳥獣 害防止総合 対策協議会	R2		捕獲隊が使用する他、地域への貸出しに使用し、個体 数調整が図られた。 シカ:66頭 イノシシ:109頭 その他:26頭	ニホンジカ 419.12	ニホンジカ 500	ニホンジカ 55.1%	ニホンジカ 0.217	ニホンジカ 0.33	ニホンジカ 21.5%	被害面積と被害金額については、着実に 減少しているが、目標には届いていない 状況である。 侵入防止柵を導入した地域の被害はほぼ ない状況にあるが、初期に導入した柵に ついては、線形の問題や補修等の問題で 被害が発生している地区も出ている。今後 は既存柵の維持や補修等を地域で行うよ うに指導していく必要がある。 捕獲機材の導入や猟友会との協力により 捕獲頭数は増加傾向にあるが、今後はよ り地域が一体となって被害防止、追払い、 捕獲を実施し被害低減に努める必要があ る。 ニホンザルについては被害面積は減少し ているものの、被害金額は増えている。今 後については広域調査やサル用の大型捕 獲檻等の導入で個体数調整を図っていく 必要がある。	引き続き、捕獲、侵入 防止柵、集落ぐるみの 追払い活動、また猟 友会との協力体制など 総合的な獣害対策の実 践を推進し、被害軽減 につなげてください。また、 アナグマ等中型獣害対策として 中型獣用侵入防止柵の設置 をすすめると被害軽減につな がると思われます。	引き続き、捕獲、侵入 防止柵、集落ぐるみの 追払い活動、また猟 友会との協力体制など 総合的な獣害対策の実 践を推進し、被害軽減 につなげていただき、改 善計画を作成の上、目 標達成できることを期 待します。	
			ニホンザル ニホンジカ イノシシ	被害防除	害対策研修会3回				追払い用火の講習会を3地区で実施し、追払い に対する知識が向上した。	ニホンザル 1,810.28	ニホンザル ル	ニホンザル -13.1%	ニホンザル 0.532	ニホンザル 0.66	ニホンザル 43.9%				
			ニホンジカ イノシシ	ICT等新技術 活用・実証	遠隔監視システム、無線捕獲 システム親機1基、子機10基				捕獲実施隊による檻の見回り労力の削減につな がった。	ハクビシン 26.45	ハクビシン ル	ハクビシン 60.6%	ハクビシン 0.003	ハクビシン 0.0065	ハクビシン -250.0%				
			ニホンジカ イノシシ	誘導捕獲柵わ な	大型捕獲檻1基				大量捕獲用の捕獲檻を整備した。	アライグマ 96.15	アライグマ 88	アライグマ 120.0%	アライグマ 0.023	アライグマ 0.021	アライグマ 121.2%				
			ニホンザル ニホンジカ イノシシ アライグマ	侵入防止柵	整備延長:3,580m				100%	ニホンザル、イノシシ、ニホンジカによる被害が軽減し た。 侵入防止柵の設置したことにより、耕作者が一体とな って獣害対策活動が促進された。	アナグマ 142.85	アナグマ 187	アナグマ 27.8%	アナグマ 0.009	アナグマ 0.058				アナグマ -1153.8%
		合計	3,076.02	合計	4,307	合計	6.6%	合計	1.0327	合計	1.2555	合計	49.5%						
		R3	ニホンジカ イノシシ	有害捕獲	箱ワナ(大型)8基	熊野市鳥獣 害防止総合 対策協議会	R3		捕獲隊が使用する他、地域への貸出しに使用。 シカ:82頭 イノシシ:37頭 その他:20頭										
			ニホンジカ イノシシ	生息環境管理	緩衝帯整備一式				ニホンジカ、イノシシの有害獣類の潜み場を除去したこ とで、ニホンジカ、イノシシの被害が軽減した。										
			ニホンジカ イノシシ	ICT等新技術の 活用	無線捕獲システム親機2基、 子機10基				捕獲実施隊による檻の見回り労力の削減につな がった。										
			ニホンザル ニホンジカ イノシシ アライグマ	侵入防止柵	整備延長:13,961m				100%	ニホンザル、イノシシ、ニホンジカによる被害が軽減し た。 侵入防止柵の設置したことにより、耕作者が一体とな って獣害対策活動が促進された。									
		R4	ニホンジカ イノシシ	有害捕獲	箱ワナ(大型)5基	熊野市鳥獣 害防止総合 対策協議会	R4		捕獲隊が使用する他、地域への貸出しに使用。 シカ:81頭 イノシシ:34頭 その他:16頭										
			ニホンジカ イノシシ	ICT等新技術の 活用	無線高利得アンテナ1基、子 機5基、ネットワークカメラ1基				捕獲実施隊による檻の見回り労力の削減につな がった。										
			ニホンジカ イノシシ	侵入防止柵	整備延長:1,560m				100%	イノシシ、ニホンジカによる被害が軽減した。 侵入防止柵の設置したことにより、耕作者が一体とな って獣害対策活動が促進された。									

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

業実施主体 (協議会名)	対象地 域	実施年 度	対象鳥 獣	事業内 容	事業量	管理主 体	供用開 始(ハ ード事 業)	利用 率・稼 働率	事業効果	被害防止計画(改善)の目標と実績						第三者の意見 (農業研究所 鬼頭敦史) (中央農業改良普及センター 大成行洋)	都道府県の評価	
										被害金額(千円)			被害面積(ha)					
										目標値 (R4年)	実績値 (R4年)	達成率	目標値 (R4年)	実績値 (R4年)	達成率			
御浜町	御浜町	R2	ニホンザル、ニホンジカ、イノシシ、アライグマ、ハクビシン、アナグマ	緊急捕獲事業	ニホンザル:成獣85頭、幼獣5頭 ニホンジカ:成獣309頭、幼獣2頭 イノシシ:成獣407頭、幼獣93頭 アライグマ:8頭 ハクビシン:11頭 アナグマ:81頭	御浜町			捕獲を行ったニホンザル、ニホンジカ、イノシシ、アライグマ、ハクビシン及びアナグマの全ての被害金額が減少し、被害金額(合計値)が目標値を達成した。	ニホンザル5,263、ニホンジカ1,879、イノシシ2,172、アライグマ66、ハクビシン14、アナグマ27、 合計9,421	ニホンザル5,239.5、ニホンジカ1,530.1、イノシシ1,327.6、アライグマ34.1、ハクビシン13.5、アナグマ21.3 合計8,166	ニホンザル:101%、ニホンジカ:174%、イノシシ:255%、アライグマ:288%、ハクビシン:125%、アナグマ:40 合計153.2%	ニホンザル2,301、ニホンジカ1,119、イノシシ1,233、アライグマ0.031、ハクビシン0.010、アナグマ0.014 合計4.7ha	ニホンザル3.22、ニホンジカ1.272、イノシシ0.95、アライグマ0.025、ハクビシン0.008、アナグマ0.015 合計5.5ha	ニホンザル:61%、ニホンジカ:34%、イノシシ:190%、アライグマ:1.0%、ハクビシン:0.2%、アナグマ:0% 合計33.6%	近隣市町や猟友会等と連携し、事業周知に努めたことで、積極的に有害鳥獣捕獲が実施された。捕獲活動を積極的に実施した結果、鳥獣の捕獲は減少してきている。また、大型地獄檻を設置し集落での捕獲活動を実施したため、捕獲頭数は増加している。今後も近隣市町、猟友会等の関係機関と連携し、積極的に捕獲を実施していく。	引き続き、捕獲とあわせて侵入防止柵設置など、複合的な被害防止対策を推進してください。また、ハクビシン等中型獣対策として中型獣用侵入防止柵の設置をすすめることと被害軽減につながると思われる。	継続した被害防止対策や捕獲により被害軽減効果が発現していることなどが評価できます。今後も引き続き、侵入防止柵設置や侵入防止柵で囲えない箇所周辺で捕獲を進めるなど、被害の軽減を図ってください。
		R3	ニホンザル、ニホンジカ、イノシシ、アライグマ、ハクビシン、アナグマ	緊急捕獲事業	ニホンザル:成獣228頭、幼獣29頭 ニホンジカ:成獣367頭、幼獣5頭 イノシシ:成獣176頭、幼獣32頭 アライグマ:7頭 ハクビシン:19頭 アナグマ:52頭	御浜町			捕獲を行ったニホンザル、ニホンジカ、イノシシ、アライグマ、ハクビシン及びアナグマの全ての被害金額が減少し、被害金額(合計値)が目標値を達成した。	合計9,421	合計8,166	合計153.2%	合計4.7ha	合計5.5ha	合計33.6%			
		R4	ニホンザル、ニホンジカ、イノシシ、アライグマ、ハクビシン、アナグマ	緊急捕獲事業	ニホンザル:成獣128頭、幼獣28頭 ニホンジカ:成獣375頭、幼獣24頭 イノシシ:成獣212頭、幼獣57頭 アライグマ:4頭 ハクビシン:11頭 アナグマ:31頭	御浜町				捕獲を行ったニホンザル、ニホンジカ、イノシシ、アライグマ、ハクビシン及びアナグマの全ての被害金額が減少し、被害金額(合計値)が目標値を達成した。	合計9,421	合計8,166	合計153.2%	合計4.7ha	合計5.5ha	合計33.6%		
御浜町鳥獣 害防止総合 対策協議会	御浜町	R2	ニホンザル、ニホンジカ、イノシシ、アライグマ、ハクビシン、アナグマ	①推進体制の整備 ②有害捕獲 ③ICT等新技術の活用 ④誘導捕獲柵 ⑤侵入防止柵	①事務用品等(マイクロSDHCカード) ②捕獲活動に係る研修費、サル個体群調査、発信機×4個 ③ICTを用いた檻・罠の遠隔監視・操作システム ④大型捕獲檻の導入(5m×5m×1.8m) ⑤阿田和山地地区 電気柵3段 L=2,100m 阿田和山地2地区 電気柵3段 L=1,100m	御浜町鳥獣 害防止総合 対策協議会	R2	侵入 防止 柵 100%	①トレイルカメラに使用した。 ②テレメトリー調査に使うサルに発信機を2頭装着し、2つの地域の行動域の調査を行うことができた。 ③ICTを用いた檻・罠の遠隔監視・操作システムにより、効率的な檻の運用と捕獲を行うことができた。 ④大型捕獲檻を導入したことにより、多くのサルを捕獲することができた。 ⑤電気柵を設置することで被害が軽減された。	ニホンザル5,263、ニホンジカ1,879、イノシシ2,172、アライグマ66、ハクビシン14、アナグマ27、 合計9,421	ニホンザル5,239.5、ニホンジカ1,530.1、イノシシ1,327.6、アライグマ34.1、ハクビシン13.5、アナグマ21.3 合計8,166	ニホンザル:101%、ニホンジカ:174%、イノシシ:255%、アライグマ:288%、ハクビシン:125%、アナグマ:40 合計153.2%	ニホンザル2,301、ニホンジカ1,119、イノシシ1,233、アライグマ0.031、ハクビシン0.010、アナグマ0.014 合計4.7ha	ニホンザル3.22、ニホンジカ1.272、イノシシ0.95、アライグマ0.025、ハクビシン0.008、アナグマ0.015 合計5.5ha	ニホンザル:61%、ニホンジカ:34%、イノシシ:190%、アライグマ:1.0%、ハクビシン:0.2%、アナグマ:0% 合計33.6%	近隣市町や猟友会等と連携し、事業周知に努めたことで、積極的に有害鳥獣捕獲が実施された。捕獲活動を積極的に実施した結果、鳥獣の捕獲は減少してきている。また、大型地獄檻を設置し集落での捕獲活動を実施したため、捕獲頭数は増加している。今後も近隣市町、猟友会等の関係機関と連携し、積極的に捕獲を実施していく。	引き続き、捕獲とあわせて、追い払いや侵入防止柵設置など、総合的な集落ぐるみでの獣害対策の取組推進により、更なる被害低減をすすめてください。	引き続き、侵入防止柵とあわせて捕獲や集落ぐるみの追い払い活動など、総合的な獣害対策の実践を推進し、被害軽減につなげていただくことを期待します。
		R3	ニホンザル、ニホンジカ、イノシシ、アライグマ、ハクビシン、アナグマ	①推進体制の整備 ②被害防除 ③有害捕獲 ④ICT等新技術実証	①事務用品等((コピー用紙、複写機使用料、チューブファイル、事務用品郵便料等) ②T3講習会の開催 ③被害防除に関する研修費(研修・講習受講費用及び旅費、研修教材費) ④サルの個体群調査(テレメトリー調査委託3頭) ⑤監視カメラ(通知機能付き)の実証	御浜町鳥獣 害防止総合 対策協議会			①有害駆除用紙を使用した。 ②T3講習会の開催することによって、地域の追い払い体制の強化を図ることができた。 ③様々な研修を受講し、職員の獣害対策知識の向上を図った。 ④新たに発信機を2つの地域のサルに装着することができた。合計4つの地域のサルの行動域を把握することができた。 ⑤カメラを実証し、効率的な捕獲の向上につながった。	合計9,421	合計8,166	合計153.2%	合計4.7ha	合計5.5ha	合計33.6%			
		R4	ニホンザル、ニホンジカ、イノシシ、アライグマ、ハクビシン、アナグマ	①推進体制の整備 ②有害捕獲 ③被害防除 ④侵入防止柵	①事務用品等(インクカートリッジ) ②大型捕獲罠檻の購入 ③サルの個体群調査(発信機(GPS機能付き)4個、発信機2個、テレメトリー調査委託2頭、センサーカメラ3個) ④T-3講習会、狩猟事故防止講習、研修会参加 ⑤被害防除に関する研修費(旅費) ⑥阿田和山地複合柵(ワイヤーメッシュ柵、電気柵3段)L=3,200m	御浜町鳥獣 害防止総合 対策協議会	R4	侵入 防止 柵 100%	①有害捕獲事務書類に使用した。 ②上市木地区に新たに大型捕獲檻を導入し、捕獲ができていなかった地域に捕獲を行うことができた。R5.7月現在で9頭捕獲している。 ③テレメトリー調査の発信機の更新を行った。センサーカメラにより、大型捕獲檻の動向を確認することができた。 ④T3講習会を2回開催することによって、地域の追い払い体制の強化を図ることができた。狩猟事故防止研修を行うことによって、くくり罠の事故防止の知識を普及させることができた。 ⑤様々な研修を受講し、職員の獣害対策知識の向上を図った。集落で複合柵を設置するリーダーと共に研修会に参加し、集落単位の獣害対策を学んだ。 ⑥阿田和山地地区に新たに複合柵を設置し、被害が軽減された。捕獲効率の向上を図るため侵入の不安のある箇所に対して付近に罠を設置した。	合計9,421	合計8,166	合計153.2%	合計4.7ha	合計5.5ha	合計33.6%			



4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

業実施主体 (協議会名)	対象地 域	実施年 度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開 始(ハ ード事 業)	利用 率・稼 働率	事業効果	被害防止計画(改善)の目標と実績						第三者の意見 (農業研究所 鬼頭敏史) (中央農業改良普及センター 大成行洋)	都道府県の評価	
										被害金額(千円)			被害面積(ha)					事業実施主体の評価
										目標値 (R4年)	実績値 (R4年)	達成率	目標値 (R4年)	実績値 (R4年)	達成率			
紀宝町	紀宝町	R2	イノシシ シカ ニホンザル アライグマ アナグマ ハクビシン	緊急捕獲	イノシシ:344頭 (成獣:313頭、幼獣31頭) シカ:277頭 (成獣:277頭) ニホンザル:76頭 (成獣:76頭) アライグマ:12頭 アナグマ:27頭 ハクビシン:6頭	紀宝町		捕獲活動を行うことにより、被害の削減に繋がっている。 イノシシ、シカについては紀宝町鳥獣害防止総合対策協議会で導入した箱罠を各猟友会で活用し、捕獲を行っている。 また、ニホンザルについてもH30年度に導入したサル用大型捕獲檻によって捕獲が進んでおり、特に柑橘被害が減少している。	イノシシ 1,647	イノシシ 1,296、	イノシシ 219%	イノシシ 0.98	イノシシ 0.88	イノシシ 158.8%	緊急捕獲事業により、一定の補助を行うことで町内で活動する猟友会員による捕獲が進み、各獣種で被害は減少傾向にある。	引き続き、捕獲や侵入防止罠の整備にあわせ、集落ぐるみの獣害対策の実践を推進し、被害軽減につなげてほしい。	継続した被害防止対策により被害が軽減できていることは評価できません。今後も計画的に被害防止対策を進めていただけることを期待します。	
		R3	イノシシ シカ ニホンザル アライグマ アナグマ ハクビシン	緊急捕獲	イノシシ:243頭 (成獣:202頭、幼獣41頭) シカ:245頭 (成獣:244頭、幼獣:1頭) ニホンザル:58頭 (成獣:55頭、幼獣:3頭) アライグマ:4頭 アナグマ:28頭 ハクビシン:6頭				計4,679	計4,001	計161.3%	計2.5	計2.48	計103.6%				
		R4	イノシシ シカ ニホンザル アライグマ アナグマ ハクビシン	緊急捕獲	イノシシ:144頭 (成獣:106頭、幼獣38頭) シカ:309頭 (成獣:309頭) ニホンザル:20頭 (成獣:19頭、幼獣:1頭) アライグマ:4頭 アナグマ:19頭 ハクビシン:10頭													
紀宝町鳥獣 害防止総合 対策協議会	紀宝町	R2	イノシシ シカ ニホンザル アライグマ アナグマ ハクビシン	①有害捕獲 ②被害防除 ③侵入防止罠	①箱罠(大型):4基 箱罠(小型):8基 ②研修会:1回 ③整備延長:電気柵3,878m、 複合柵1,100m	R2	侵入 防止 罠 100%	以前より取り組んでいた箱罠の導入および侵入防止罠の整備を進めた。捕獲と園地の囲い込みの両面の対策を行うことで、被害の低減に繋がった。 また、被害防除研修会を開催し、追い払い等に対する意識の向上を図ることができた。 加えて、緩衝帯の整備を行い、獣の住処となる林を無くすことで被害が減少している。	イノシシ 1,647	イノシシ 1,296、	イノシシ 219%	イノシシ 0.98	イノシシ 0.88	イノシシ 158.8%	箱罠と侵入防止罠により、捕獲と園地の囲い込みの両面から対策を行うことで被害金額の減少および被害面積の縮小に繋がっている。 緩衝帯の整備箇所についても、捕獲等対策を組み合わせることで効果が出てきている状況。	引き続き、捕獲とあわせて侵入防止罠の整備や集落ぐるみの追い払いなどの推進により、総合的な獣害対策をすすめてください。また、集落柵を設置した地区においては、維持管理体制づくりをすすめて、柵の効果継続につなげてほしい。	継続した被害防止対策により被害が軽減できていることは評価できません。今後も計画的に被害防止対策を進めていただけることを期待します。	
		R3	イノシシ シカ ニホンザル アライグマ アナグマ ハクビシン	①有害捕獲 ②推進体制の 整備 ③侵入防止罠	①箱罠(大型):5基 箱罠(小型):4基 ②協議会開催の事務用品 ③整備延長:電気柵755m、 WM柵290m、複合柵7,126m	R3	侵入 防止 罠 100%		計4,679	計4,001	計161.3%	計2.5	計2.48	計103.6%				
		R4	イノシシ シカ ニホンザル アライグマ アナグマ ハクビシン	①有害捕獲 ②被害防除 ③侵入防止罠 ④生活環境管 理	①箱罠(大型):4基 箱罠(小型):4基 ②研修会:2回 ③整備延長:電気柵500m、 WM柵1,722m、複合柵8,263 m ④緩衝帯整備:1箇所	R4	侵入 防止 罠 100%											

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

業実施主体 (協議会名)	対象地 域	実施年 度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開 始(ハ ード事 業)	利用 率・稼 働率	事業効果	被害防止計画(改善)の目標と実績						第三者の意見 (農業研究所 鬼頭敏史) (中央農業改良普及センター 大成行洋)	都道府県の評価
										被害金額(千円)			被害面積(ha)				
										目標値 (R4年)	実績値 (R4年)	達成率	目標値 (R4年)	実績値 (R4年)	達成率		
三重県	三重県	R4	ニホンジ カ、イノシ シ	地域主体による有害動物の捕獲及び被害対策技術の実証	現地確認、消耗品費、捕獲器改良資材、獣害発生状況データ整理に係る賃金、ICT捕獲機材通信費、箱わな管理費、燃料費、電牧器、GIS保守				地域主体で被害対策を行うための、防護柵の効果的な補修・機能向上手法及び、その周辺で有害動物の捕獲を進めるための技術の実証を行うとともにその効果を検証できた。							ニホンジカ・イノシシ対策について、「集落柵の効果的な補強方法の解明」や「難防除箇所の侵入防止技術の開発」や「ICT大型捕獲檻によるニホンジカ捕獲に効果的なエサ管理技術の解明」などの実証を推進し、得られた成果を論文発表や研修会で報告を行って、現地への普及技術として活用し、被害軽減を図っていきたい。	
			ニホンジカ	被害防止のためのくくりわなによる効果的なニホンジカ捕獲方法の開発	現地調査、燃料費、センサーカメラ通信費、くくりわな等消耗品、くくりわな巡視報償費				軽量で移動が容易であり、価格も比較的安いくくりわなによる捕獲方法について、農地に被害を及ぼすニホンジカを対象に効果的な捕獲の有効性を検証できた。						くくりわなによる捕獲について、ニホンジカ誘引餌の指向性調査の実施や、複数の捕獲通知システムの利用可能性、誤作動による捕獲個体の捕り逃がしを防止するための安定的に作動するくくりわなの検討を行い、検証した。その結果を活用し、効率的な捕獲の推進を図っていきたい。		
			ニホンジ カ、イノシ シ、ニホン ザル	「獣害につよ い三重づくり 研修会」「指 導者育成講 座」等による 人材育成及 び、優良活 動表彰の実 施	資料印刷費、研修会に係る講師旅費及び報償費、優良活動表彰に係る審査委員旅費及び報償費				県内の獣害対策関係者を対象とし、獣害対策の取組事例の報告等や獣害対策に取り組む集落の優良活動事例の表彰を実施し、獣害対策への意欲の向上や知識の取得を促すことができた。また県内市町担当者等を対象とした獣害対策講習会の開催や、県獣害対策担当者の研修参加により、獣害対策指導者の育成が図られた。						人材育成活動については、研修会開催を積極的に行い、地域における獣害対策指導者の育成、またフォーラムを開催し、講演会や企業展示などを進めている。		
			ニホンジ カ、イノシ シ	ジビエ利用 拡大	販路拡大、普及啓発活動、新規販路開拓、商品開発、情報収集活動等				みえジビエのプレゼントキャンペーンや県内直売所でのPR活動など、一般消費者へ向けた積極的な普及啓発活動を行うことで、みえジビエの認知度向上、消費拡大につなげることができた。 また、首都圏の展示会へ出展し、県外事業者等に向けた営業活動を行うことで、みえジビエの販売・流通経路の拡大につなげることができた。						ジビエ利用拡大については、キャンペーン、イベント等のPR活動や事業者に向けた営業活動等を行うことで、高品質なみえジビエの知名度向上、販路拡大が図られた。 一方で、事業者の高齢化、豚熱まん延防止のための野生イノシシの出荷自粛等によって、みえジビエの解体処理頭数は減少している。 今後は、みえジビエの関係事業者と連携し、安定的な供給体制を構築するとともに、新たな販売経路の開拓等を実施することで、更なる利用拡大を図ってきたい。		

注1:被害金額及び被害面積の目標欄については対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載する。

2:都道府県が事業実施主体となる鳥獣被害防止都道府県活動支援事業を実施した場合、その事業内容等も記載すること。

3:事業効果は記載例を参考とし、獣種等ごとに事業実施前と事業実施後の定量的な比較ができるよう時間軸を明確に記載の上、その効果を詳細に記載すること。整備事業を行った場合、捕獲効率の向上にどのように寄与したかも必ず記載すること。

4:「事業実施主体の評価」の欄には、その効果に対する考察や経営状況も詳細に記載すること。

5:鳥獣被害防止施設の整備を行った場合、侵入防止柵設置後のほ場ごとの鳥獣被害の状況、侵入防止柵の設置及び維持管理の状況について、地区名、侵入防止柵の種類・設置距離、事業費、国費、被害金額、被害面積、被害量、被害が生じた場合の要因と対応策、設置に係る指導内容、維持管理方法、維持管理状況、都道府県における点検・指導状況等を様式に具体的に記載し、添付すること。

5 都道府県による総合的評価

県全体として、農業被害金額及び被害面積は減少傾向にあり、集落ぐるみで取り組む獣害対策については一定程度は浸透してきている。しかし、中山間地域では高齢化により、捕獲や柵の草刈りや補修等の維持管理を行うことが困難になっている地域も見受けられる。今まで被害の無かった地域での被害が出てきていることや、中型獣種の被害も各地域で見受けられるようになってきていることから、今後も引き続き、市町と協力しながら地域の状況や、加害獣種に合わせたきめ細やかな対策を進展させていきたい。